

教育部門

渡議員



Q 中高一貫教育について

A 学校間の情報共有や生徒間交流など
つながりが強化されたと考えている（西原教育長）

A 熊野高校への理解を深め、志願率の増加を図る目的で、町内2つの中学校と熊野高校の生徒でクラブ活動の交流、高等学校の先生による中学校への訪問授業等を実施した。同じ町内の学校として、学校間の情報共有や生徒間交流が密になり、つながりも強化されたと考えている。
今後とも熊野町を愛する生徒の育成及び学力向上を目指して、より一層の連携を深めていきたい。

Q 熊野高校との連携が見えない、という声を耳にする。中高一貫教育について、熊高連携にどのような目標・計画を持ってきたか。連携の成果は。また、どのように達成され、満足されているか。



Q 旧友井住宅の維持管理について

A 課題も多いため今後については
慎重に検討していきたい（中村生涯学習課長）

Q 旧友井住宅（友井文庫）は、町が寄贈を受けた茅葺の建物。町内でも数少ない立派なもので、文化財として保存すべきと考えられるが、傷みが激しく早急に修復しないと、数年で解体することになる。修繕の方法はないか。
また、この建物を生かす対策を考えてもらいたい。

A 町内ボランティアの方の厚意で、雨漏り予防のために、茅葺屋根の修理及びシートを屋根全体に張っていただいたが、全体的な修復には相当の費用が想定される。
活用については、進入路が狭いことや、入り口が民有地であることも課題である。今後の方針については、関係課と慎重に検討していきたい。

南田議員



Q 流域水系の無断変更による危険及び災害について

A 無断で流域の変更をすることは
できないと考えている（上馬場建設部長）

A 流域水系の変更としては、開発等による地形変更が行われる場合が考えられる。流域については、原則、流域の変更は行わないことになっているが、やむを得ず一部を変更する場合には、流出量に見合った河川改修等の大規模な施設工事が必要となる。
新都市計画法が施行された昭和43年以降においては、無断で流域の変更をすることはできないと考えている。

Q 今回の長雨により町内でも災害があったが、河川等における流域水系の無断変更による危険、及び災害についてどう考えるか。

馬上議員



Q 広島熊野道路の通行料金について

A 料金割引などの要望は行ってきたが
慎重に検討していく必要がある（三村町長）

A これまでに県や県道路公社に、料金割引などの要望は行ってきたが、料金改定には国の審査や許可が必要など実現は困難と伺う。また現在の計画では、通行料金の収入をもとに、建設後30年間で償還を完了させ、無料開放する予定となっていることから、料金引下げにより、無料開放時期が延びたということがないよう、慎重に検討していく必要がある。

Q 広島熊野道路が開通して20年、時代も変化しており、割引の交渉をしてもいい時期ではないかと思う。今までの交渉は。
また、高速道路のような通勤時間割引の交渉も行ってはどうか。